

高架下整備等アドバイザー業務 選定基準

【プレゼンテーション審査(400点)】

評価項目		審査の着眼点	配点
実施体制	管理技術者の実績	過去10年間のアドバイザー業務実績について下記の通り評価する。 A評価: 5件が実績として認められる。 B評価: 4件が実績として認められる。 C評価: 3件が実績として認められる。 D評価: 2件が実績として認められる。	50
	担当技術者の実績 (事業スキーム担当者)	過去10年間のアドバイザー業務実績について下記の通り評価する。 A評価: 5件が実績として認められる。 B評価: 4件が実績として認められる。 C評価: 3件が実績として認められる。 D評価: 2件が実績として認められる。	
	担当技術者の実績 (施設計画担当者(土木))	過去10年間のアドバイザー業務実績について下記の通り評価する。 A評価: 5件が実績として認められる。 B評価: 4件が実績として認められる。 C評価: 3件が実績として認められる。 D評価: 2件が実績として認められる。	
	担当技術者の実績 (施設計画担当者(建築))	過去10年間のアドバイザー業務実績について下記の通り評価する。 A評価: 5件が実績として認められる。 B評価: 4件が実績として認められる。 C評価: 3件が実績として認められる。 D評価: 2件が実績として認められる。	
	担当技術者の実績 (法務担当者)	過去10年間のアドバイザー業務実績について下記の通り評価する。 A評価: 5件が実績として認められる。 B評価: 4件が実績として認められる。 C評価: 3件が実績として認められる。 D評価: 2件が実績として認められる。	
	配置	配置体制について、下記の通り評価する。 A評価: 福岡県内に常駐する技術者が複数名配置されている。 B評価: 九州内に常駐する技術者が複数名配置されている。	
	業務実施体制フロー図 (連事様式第2号)	本業務を遂行できる十分な体制となっているか。	
実施方針	実施方針	本業務を活かすことができる業務実績を有し、かつ成果につなげる実施方針が明確に示されているか。業務工程においては事業者選定に向けてのコントロールポイントが明確に示されているか。	120
	特定テーマ	本事業内容を踏まえた上で、課題の抽出と解決策が創造性、実現性のある提案となっているか。	54
	特定テーマ	これまでの検討を踏まえて、創造性、実現性のある提案となっているか。	54
その他	意欲やプレゼン力	説明が分かりやすかつ確か。取組む姿勢、熱意があるか。	72
小計			350
価格点	以下の数式により評価点を算出する。なお評価点は小数点第3位以下切り捨てとする。 価格点 = 50 × (最低見積価格 ÷ 見積価格)		50
【合計 400点】			400